



「こんにちは 市長です」

7月10日号

「金山中学校」の入学式が6月下旬に行われた。今年で4年目にもなったからぼちぼち終わりかなと心配していたけど生徒数64人、2クラスの堂々の出発ができた。平均年齢70歳。少し前の若者たちはお元気でやる気満々である。社会は高田先生、国語の担任は高柳先生。両先生のあいさつを聞いていると今年もばっちり、手抜きしない授業をやってくれそう。楽しい授業が期待できる。

行政センターではいろいろな教室があって、とにかくたくさんの人たちが学習している。人生半ばを過ぎた女性が圧倒的に多い。男はどこに行っちゃったのか、である。それはそれでいいんだけど、もう一度中学生の勉強をやってみたらどうか、社会経験してきた人間がああ良き昔に戻ってみるのはきっと楽しいのではないか、また新たな発見ができるんじゃないか、というこちらの勝手読みで始めた。だけど、引き受け（課）が出てこない。仕方ない、秘書課でやろうと相成ったわけだ。いつまでも秘書課はないだろ

う、ということで企画政策課から生涯学習課に担当が移っている。以前にも同じような、引き受け手のいない思いつき事業？があった。「算数支援隊」である。昔、ずっと若い頃学習塾をやっていたことがある。特に算数はつまずいたところが分からないとチンプンカンプンになってくる。勉強が嫌いになる前に分からなくなるところを個別指導で発見してやろうと思った。どの課がやるんだ？ ということになった。言い出しっぺの私の所属する秘書課がやることになった。ちょっと話がそれましたね。

「年取ったね」と他人に言われても、自分はそうは思わない、言わないのがいい。言うとその分だけ年を取るんですよ。